


番号	タイトル	内 容	所要時間
5		<p data-bbox="1321 319 1713 367">「めぐみ」(アニメ)</p> <p data-bbox="1041 606 2004 766">北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ。 昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。(2008年制作)</p>	25分
11		<p data-bbox="1310 981 1736 1077">えっ！これも人権？ -4コマ劇場より-</p> <p data-bbox="1041 1300 2004 1444">この作品は、日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づかせる作品です。 4コマ・マンガと実写で分かりやすく構成されています。(2007年制作)</p>	30分

番号	タイトル	内 容	所要時間
14		<p style="text-align: center;">いのち輝くとき</p> <p>最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に、地域社会から孤立している核家族の親が、現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか？ マンションに隣接した「ふれあい菜園」という畑を舞台に、父親に受けた虐待が原因で心を閉ざしている稔（4歳）とその家族を何とか立ち直らせようと、お年寄りたちが発奮する作品です。（2000年制作）</p>	30分
16		<p style="text-align: center;">パパ、ママをぶたないで！</p> <p>父親から母親への暴力に見かねた子どもの実話に基づき、アニメーションの技術を駆使して二児の母の女性監督が6年かけて完成！映画祭では、〈社会への大切なメッセージが込められ、語り口調も魅力的〉と内容と技術の両方に高い評価。「アニメーションは人の心情を理解する優れた方法。同じ問題を抱える大人に見てもらい、活用してほしい」と監督は語っている。（2009年制作）</p>	23分

番号	タイトル	内 容	所要時間
17		<p style="text-align: center;"><b>ひとみ輝くとき</b></p> <p>本ビデオは、子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもの家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成ができることを願い、研修・学習ビデオとして制作いたしました。また、子どもたちが本ビデオを鑑賞して「いじめの構造」を知ったとき、自分はどの立場にいるか判断し、皆で考え話し合いのできる作品としています。（2008年制作）</p>	35分
19		<p style="text-align: center;"><b>虹のきずな</b></p> <p>北九州市人権啓発アニメーション 大学生のひかりは、小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしている。しかし、うまく感情をこめて絵本の読み聞かせができないひかりは、子どもたちの評判も良くない。そして、いつも図書館でひとりぼっちで図書館にいるお男の子、タオロンもまた同じだった。 【学習のポイント】 人の痛みを感じるチカラ、ありますか？ なぜ、相手のことを見ようとならないの？ 人の気持ちを想像して、お互いの想いを伝えあおう！ 悲しみを喜びに変えるチカラは、一人一人の心の中にある！ それって、助けてあげないのと同じじゃないの？ 友達の友達は友達？それとも他人？ 気づき、そして、踏み出す勇気の一歩を。（2012年制作）</p>	31分

番号	タイトル	内 容	所要時間
31		<p style="text-align: center;"><b>学ぼうヒロシマ</b> Let's learn about Hiroshima</p> <p style="text-align: center;"><b>【中高生対象】</b></p> <p>～記憶を受け継ぐ～【34分】 3名の被爆体験者の話。</p> <p>～平和をになうのは私たち ジュニアライターの活動～【13分】 小6から高校3年生までの中国新聞ジュニアライターたちが、被爆体験者への取材を通じ、記憶を語り継ぐことの重要性を知り、自分たちが望む平和な世界を思い描く。</p> <p>～1945原爆と中国新聞～【28分】 原爆により壊滅的被害を受けた中国新聞社が、広島街と共に復興していった道のりを紹介。(2014年制作)</p>	<p>トータル 76分</p> <p>(分割 可)</p>
35		<p style="text-align: center;"><b>ひとりぼっちはいやだよね</b> ～みんなでなくそう いじめ～</p> <p>いじめをなくすために、画期的な指導をしている、二つの小学校の授業風景を捉える。</p> <p>ある小学校の道徳の授業では、ロールプレイでいじめを疑似体験し、演じた子どもや見ていた子どもに、感想や意見を聞いていく。もう一つの小学校では、子どもが仲裁役となって問題を解決する「ピア・メディエーション」という活動に取り組んでいる。それらの活動を捉え、全員が心から楽しいと言える学校を作っていくにはどうすればよいか、子どもに視聴しながら考えさせる内容となっている。</p> <p>(2014年制作)</p>	<p>20分</p>


番号	タイトル	内容	所要時間
45	 <p>わたしたちが伝えたい大切なこと</p> <p>平成29年度法務省主催 人権啓発アニメ わたしたちが伝えたい大切なこと —アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品— The Amazing Things That We Want You to Know —National Annual Contest of the National Law Cabinet of JAPAN 14th to 16th Grade—</p> <p>審査員からのメッセージ 31分</p> <p>監修 法務省人権啓発センター 制作 毎日放送</p>	<p>わたしたちが伝えたい大切なこと —アニメで見る 全国中学生人権作文 コンテスト入賞作品—</p> <p>このDVDは「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気づきのプロセスを描いています。 入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。 (2017年制作)</p>	31分
68	 <p>ハンセン病問題を知らる ～元患者と家族の思い～</p> <p>平成31年度 法務省主催 人権啓発アニメ</p> <p>隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。 (2020年制作)</p> <p>本DVDの構成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロローグ</li> <li>2 国立ハンセン病問題 説明コーナーにて</li> <li>3 あるハンセン病元患者とその家族の思い</li> <li>4 あるハンセン病元患者とその家族の思い</li> <li>5 あるハンセン病元患者とその家族の思い</li> <li>6 あるハンセン病元患者とその家族の思い</li> <li>7 枝力さんからのメッセージ</li> <li>8 エピローグ</li> </ol> <p>監修 法務省人権啓発センター 制作 毎日放送</p>	<p>ハンセン病問題を知らる ～元患者と家族の思い～</p> <p>隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。 (2020年制作)</p>	34分

番号	タイトル	内 容	所要時間
78		<p style="text-align: center;"><b>はじめて学ぶ LGBTs</b> <b>②好きになってはいけないの？</b></p> <p>同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であることを学ぶ映像教材。自らの性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在する年代だからこそ、当事者児童の自尊感情を育めるように配慮しています。具体的な指導案を示す教員向け映像も収録。（2020年制作）</p>	22分
90		<p style="text-align: center;"><b>大阪府 もずやんのレスキューキット</b> <b>危険から子どもを守る</b></p> <p>子どもたちが、日常生活の中で遭遇するおそれがある危険に関する情報を映像化してまとめたものです。 危険から身を守る：防犯ブザーの活用、スマホ・ネットに潜む危険、性暴力被害の実態と支援、デートDV、エンパワメント、日常生活での危険、薬物乱用防止、児童虐待防止 災害から身を守る：地震・津波から逃げる、消防団を知っていますか、災害用伝言ダイヤル 取組紹介：こころの再生府民運動、少年サポートセンター</p>	114分

番号	タイトル	内 容	所要時間
91	 <p>大阪府 もずやんのレスキューキット 危険から子どもを守る</p> <p>大阪府 青少年・地域安全室</p>	<p><b>大阪府 もずやんのレスキューキット 危険から子どもを守る</b></p> <p>子どもたちが、日常生活の中で遭遇するおそれがある危険に関する情報を映像化してまとめたものです。 危険から身を守る：防犯ブザーの活用、スマホ・ネットに潜む危険、性暴力被害の実態と支援、デートDV、HIVエイズ、日常生活での危険、薬物乱用防止、児童虐待防止 災害から身を守る：地震・津波から逃げる、消防団を知っていますか、災害用伝言ダイヤル 取組紹介：まいど子どもカード、3朝運動、こころの再生府民運動、少年サポートセンター</p>	114分
94	 <p>「いのちと人権」 ～つながるいのちを感じて～</p> <p>クリームパン</p> <p>兵庫県人権啓発ビデオ</p>	<p><b>クリームパン</b></p> <p>昨今、あまりにも軽く「いのち」が扱われている。「いのち」の尊さを、子どもも若者も、もしかしたら大人も気づいていないのかもしれない。「いのち」とは温かく、ずっしりと重いもの。一度失われたら二度と再生しないもの。 人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に、虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」である。人と人がふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあることを訴える。(2010年制作)</p>	36分

番号	タイトル	内 容	所要時間
102		<p style="text-align: center;"><b>Voice!!! 人権の教室</b></p> <p>ようこそ「人権の教室」へ。 中学生・高校生合わせた3人が、招待状を見ながら 休日の教室に集まってきます。 ただ、子供たちは内心、「人権」について いまひとつピンと来ていない様子。 さて、どんな授業が始まるのでしょうか…</p>	38分
103		<p style="text-align: center;"><b>あなたは大丈夫? 考えよう! いじめ ～一人で悩まず相談しよう～</b></p> <p>小学生編と中学生編、2つのストーリーがあります。現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。</p>	28分42秒

番号	タイトル	内 容	所要時間
109		<p style="text-align: center;">夕焼け</p> <p>「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」この物語の主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族であるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気につけ、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として、制作されています。（2021年制作）</p>	35分
110		<p style="text-align: center;">ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラルを～ ①誹謗中傷・出会いの危険</p> <p>多くの中学生・高校生がスマホでSNSを利用しています。SNSは情報発信や収集、コミュニケーションを手軽に行える便利なツールである一方で、その使い方を誤ると友人との関係に問題が生じたり、事件に巻き込まれたりするといった危険が潜んでいます。SNSを安全かつ正しく利用するためには、生徒一人ひとりが情報モラルを身に着けることが大切です。ドラマの事例から、どのようにしてトラブルを避けるのかを考えさせ、情報モラルを身につけることをねらいとしています。（2024年制作）</p>	24分

番号	タイトル	内 容	所要時間
111	 <p><b>企画意図</b> 多くの中学生・高校生がスマホでSNSを利用しています。SNSは情報発信や収集、コミュニケーションを手軽に行える便利なツールである一方で、その使い方を誤ると友人との関係に問題が生じたり、事件に巻き込まれたりするといった危険が潜んでいます。SNSを安全かつ正しく利用するためには、生徒一人ひとりが情報モラルを身につけることが大切です。</p> <p>本作品では、誤ったSNSの利用によってトラブルに巻き込まれる生徒たちの事例を、ドラマ形式で描きました。1巻では「誘惑中傷」「出会いの危険」、2巻では「迷惑動画」「闇バイト」という計4つのテーマを取り上げます。ドラマの事例からどのようにしてトラブルを避けるのか考えさせ、生徒が情報モラルを身につけることをねらいとしています。</p> <p><b>目次</b> 1巻 5話 誘惑中傷・出会いの危険 1話 2巻 2話 迷惑動画・闇バイト</p> <p><b>プロデューサー</b>：光野雅明 近藤美月 <b>脚本・監督</b>：本間利人 <b>制作協力</b>：株式会社エスアジジョン <b>企画・製作</b>：東映株式会社 教育映像部</p> <p>●お買い上げは…… https://www.toei.co.jp/entertainment/education/index.html 販売元：営業推進室 TEL.03-3535-3631 Mail: kyokyu_eigyo@toei.co.jp</p> <p>東映株式会社 教育映像部</p>	<p>ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラルを～ ②迷惑動画・闇バイト</p> <p>多くの中学生・高校生がスマホでSNSを利用しています。SNSは情報発信や収集、コミュニケーションを手軽に行える便利なツールである一方で、その使い方を誤ると友人との関係に問題が生じたり、事件に巻き込まれたりするといった危険が潜んでいます。SNSを安全かつ正しく利用するためには、生徒一人ひとりが情報モラルを身につけることが大切です。ドラマの事例から、どのようにしてトラブルを避けるのかを考えさせ、情報モラルを身につけることをねらいとしています。(2024年制作)</p>	24分